

釜の底力みせたるで!

再開発に揺れる大阪・釜ヶ崎を舞台に繰り広げられる

フィクション 喜劇  
嘘と真の大混戦人情喜劇!

おおさかシネマフェスティバル2018  
「ワイルドバンチ賞受賞」

シネマフェスティバル国際映画祭  
「正式出品」

【監督・脚本】  
佐藤零郎  
【出演】  
太田直里  
川瀬陽太  
淡川清彦  
一門戸紡  
西山真来  
足立正生

【撮影監督】  
小田切瑞穂

【照明】  
栗原良介

【録音】  
江藤直樹

【美術】  
西村立志

【編集】  
佐藤零郎 / 板倉善之

【プロデューサー】  
梶井洋志

【制作】  
福井逸子

【配給】  
映画「月夜釜合戦」製作委員会

【宣伝】  
contrail

©映画「月夜釜合戦」製作委員会

<http://tukikama.com/>

2018年 / 日本 / カラー / 16mmフィルム / 115分

月夜  
釜  
合戦

The Kamagasaki  
Cauldron War

ポルト・ポスト・ドック国際映画祭  
「グランプリ受賞」



# 16mmのフィルムに焼き付けた 釜ヶ崎の現在・過去・未来

赤いスカートの女性による爽快な自転車の走行に導かれ、出鱈目のようにいて繊細きわまりない演出が描きあげるこの愉快な作品が16ミリで撮られたことを、とことん祝福しようではないか。

蓮實重彦 映画評論家

今さらフィルムの時代を懐かしみはしない。でも全篇16ミリフィルムで撮影された『月夜釜合戦』を見れば、今この国がつまらないのは誰もがデジタルの映像を通してしかものを考えていないからだと言いたくなる。

藤井仁子 映画批評家

社会の周縁へ追われる人々への共感。日本映画の体制批判の伝統を継承する方法。人々の厳しい生活の現実をもとにつくられた明朗喜劇であるこの作品は、「共生」そして「寛容」という共同体の他ならぬ意味を見出し、賛辞を送っているのです。

ポルト・ポスト・ドック国際映画祭



## イントロダクション

日本最大の「寄せ場」・釜ヶ崎(西成・あいりん地区)。戦後の高度経済成長期、炭坑で働いていた者や土地を失った農民たちが使い捨ての労働力としてこの地に集められ、日雇労働者となった。また、芸人や私娼や孤児など市民社会からはじき出された者たちも、この街に寄せ合い暮らしてきた。そんな街が、再開発の下で、いま失われつつある——決してデジタルでは捉えられないこの街の臭いや息遣いを焼き付けるのはフィルムしかない、と、困難を承知で、16mmフィルムによる釜ヶ崎オールロケーション撮影を敢行。ドヤ街の街並みをドキュメンタルに活写した。監督は『長居青春酔夢歌』(2009)の佐藤零郎。撮影過程で出会った仲間や街の人々と、川瀬陽太・渋川清彦・西山真来らプロの俳優が共演し、『太陽の墓場』『@色めす市場』など数々の映画の記憶を内包しながら、全く新しい人情喜劇を誕生させた。タイトルは「月夜の晩に釜を抜かれる」という諺(月夜の晩は明るいから盗まれる心配はないだろうと高をくっつけていたら、煮炊きの必需品である釜を盗まれてしまうという事から、ひどく油断をすると一番大切なものを盗まれるという意)を元に作られた古典落語の演目『釜泥』に由来する。



## あらすじ

ある日、飛田遊郭をしきる釜足組の大事な代紋入りの「お釜の盃」が盗まれた。大慌てで釜を探す釜足組のチンピラは、街中の釜を買い漁り始める。釜の値は高騰し、「釜が売れる」という噂を耳にした街の人たちは、釜泥棒に躍りこみとなった。釜泥棒の大洞(川瀬陽太)は、この儲け話にしたり顔で参加する。私娼のメイ(太田直里)、孤児の貫太郎(門戸紘)も、あれよあれよとこの騒動に巻き込まれていく。釜足組の親分の息子タマオ(渋川清彦)は、二代目を継ぐことを嫌がっていたが、ひょんなことから襲名に必要な「お釜の盃」を探すことになるのだが……。泥棒、娼婦、ヤクザ、日雇い労働者、活動家に地上げ屋一癖も二癖もある面々の“釜”を巡って繰り広げられる一代争奪戦!いまその幕が切って落とされた!

上方芸能発祥の地・てんのじ村から全国行脚! いま、ここでしか観られない! 4Dを超える「16mmフィルム体感上映」!

映画館からフィルムがどんどん無くなっていく昨今。制約が厳しくなることを承知で「上映も16mmフィルムでやりたい」という制作陣の思いに応えた気骨のあるミニシアターが上映に名乗りを上げた。劇場公開時には、大阪から16mmフィルム映写機を持ち込んで上映。期間中は、技師が連日フィルムに最適な温度・湿度まで配慮して映写をする。観客は、最後まで無事にフィルムは回り続けるのか!?という緊張感を共有し、場内で映写機の鼓動とフィルムの瞬きを同時に体感する事となる。このような見世物小屋的な上映は、「興行」の原点回帰といえるだろう。

2019年3月9日(土)よりユーロスペースにて、4月20日(土)より横浜シネマリンにて、ともに2週間限定公開!

前売鑑賞券	¥1,400(税込)
当日	一般 ¥1,800(税込) / 大学・専門学校生 ¥1,500(税込) “月釜”手拭い持参の人は¥1,300(税込)

**ユーロスペース**  
EUROSPACE  
渋谷区円山町1-5 KINOAUS 3F  
TEL:03-3461-0211

**横浜シネマリン**  
横浜市中央区長者町6-95  
TEL:045-341-3180

●監督: 佐藤零郎 ●出演: 太田直里/川瀬陽太/渋川清彦/門戸紘/西山真来/カズ/アカルコ/マリイ/緒方晋/赤田周平/下田義弘/大宮義治/北野勇作/海道力也/角田あつし/大宮将司/日野慎也/柴哲平/岡元あつこ/得能洋平/福井大騎/足立正生 ●撮影監督: 小田切瑞穂 ●照明: 栗原良介 ●録音: 江藤直樹 ●美術: 西村立志 ●音楽: 井上讓/浦田晴夫/岳陽 ●編集: 佐藤零郎/板倉善之 ●ロケーションマネジャー: 中村葉子 ●小道具: 田代聖子 ●ケータリング: 持木良太 ●スチール: 大道正史 ●ネガ編集: 山本浩史 ●宣伝美術: タイトルデザイン: シマダタモツ ●プロデューサー: 梶井洋志 ●制作: 福井逸子 ●印刷協力: アサヒ精版印刷株式会社 ●整音: ガルレクラ ●現像: IMAGICAウェスト ●宣伝: 山崎紀子/佐野彰則/五味聖子/加瀬修一 ●製作・配給: 映画『月夜釜合戦』製作委員会 <http://tukikama.com>/2018年/日本/カラー/16mmフィルム/115分 ©映画『月夜釜合戦』製作委員会

映画『月夜釜合戦』公式瓦版 <http://tukikama.com/>

